

事後評価結果（令和元年度）

担当課：中国地方整備局道路部道路計画課
担当課長名：兼松 幸一郎

事業名	一般国道2号 <small>たましま かきおか</small> 玉島・笠岡道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局			
起終点	白： <small>おかやま くらしき たましまあがさき</small> 岡山県倉敷市玉島阿賀崎 至： <small>おかやま あさぐち こうこうしょうきがた</small> 岡山県浅口市金光町佐方			延長	4.5km			
事業概要								
一般国道2号は大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。玉島・笠岡道路は、岡山県倉敷市から岡山県浅口市に位置し、地域高規格道路の倉敷福山道路の一部を構成する延長4.5kmのバイパスである。								
事業の目的・必要性								
一般国道2号玉島・笠岡道路は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、周辺地域の連携強化等を目的とした事業である。								
事業概要図								
事業の 効果等	事業期間	事業化年度 都市計画決定	H13年度 H12年度	用地着手 工事着手	H16年度 H17年度	供用年 (当初) - / H35年度 (実績) H26年度 / -	変動	- 倍
	事業費	計画時 (暫定完成)	名目値 - / 約383億円 実績値 - / 約377億円	実績 (暫定完成)	名目値 約275億円 / - 実績値 約275億円 / -		変動	- 倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定完成)	- / 43,900~55,900台/日	実績 (暫定完成)	8,600台/日 / -		変動	- %
	旅行速度向上 (供用前現道→供用後現道)		14.6 → 24.2 km/h (供用前年次) H17年度 (供用後年次) H27年度	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	39.5 → 10.5 件/年 (供用前年次) H9~H12年 (供用後年次) H28~H29年			
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	3.5	総費用 362億円 事業費：338億円 維持管理費：24億円	総便益 1,265億円 走行時間短縮便益：884億円 走行経費減少便益：262億円 交通事故減少便益：119億円	基準年		H22年
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.3	総費用 408億円 事業費：385億円 維持管理費：23億円	総便益 529億円 走行時間短縮便益：358億円 走行経費減少便益：133億円 交通事故減少便益：37億円	基準年		
	事業遅延によるコスト増			費用増加額 - 億円	便益減少額 - 億円			R元年
事業遅延の理由								
特になし								

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞損失時間が削減した【削減時間：79千人・時間/年】 ・新幹線駅へのアクセスが向上した【浅口市～新倉敷駅：約21分⇒約18分】 <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路 倉敷福山道路の一部として位置付け ・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上した【浅口市～倉敷市：約41分⇒約31分】 <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉島・笠岡道路をメインアクセスとする「浅口工業団地」が造成され、事業所が操業を開始した【計画総面積約29haのうち造成済・分譲済の約3haでR1年10月に操業開始】 <p>④安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセスが向上した【浅口市寄島町～倉敷中央病院：約38分⇒約34分】 <p>⑤安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道（国道2号）の死傷事故件数が減少した【減少件数：約29件/年】 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次緊急輸送路に指定され、緊急輸送道路ネットワークの信頼性が向上した ・第一次緊急輸送路である国道2号の代替路線としての機能が期待できる <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減【削減量：約7千t/年、3,490千t/年⇒3,483千t/年】 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の削減【削減量：約27t/年、8,194t/年⇒8,167t/年】 ・SPM排出量の削減【削減量：約1.5t/年、429.7t/年⇒428.2t/年】 ・騒音レベルが夜間騒音要請限度を超えている箇所を改善した【国道2号（並行現道）浅口市金光町大谷：夜間74db⇒69db<夜間要請限度70db】 	他2項目に該当
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>	
<p>の 事 業 に よ る 環 境 等 の 変 化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価実施要綱に基づく経過措置案件事業により評価対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p>	
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県倉敷市・浅口市の人口は平成7年から平成27年まで増加【H7：492千人→H27：511千人】 ・岡山県倉敷市・浅口市の自動車保有台数は平成7年から平成27年まで増加【H7：338千台→H27：392千台】 	
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>玉島・笠岡道路は事業目的に見合った事業効果の発現が確認されており、当該事業のみを対象とした今後の事後評価の必要はないと考える。</p> <p>玉島・笠岡道路の整備により、交通混雑の緩和、安全・安心の確保、日常生活における利便性の向上など一定の効果は得られているものの、整備によるネットワーク効果を最大限発揮するために、引き続き玉島・笠岡道路(Ⅱ期)及び笠岡バイパスの整備を進めていくこととしている。</p>	
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>同種事業の計画・調査にあたっては、沿線自治体の目指すべき姿（地域計画）と整合させ、経済、観光等の関係者から情報収集を行うなど道路整備による多面的な効果の把握に努める必要がある。</p> <p>今後周辺道路整備が進みネットワークとしての効果も発揮することが期待されるため、引き続き社会経済指標やビッグデータ等データの蓄積に努める。</p>	
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。